

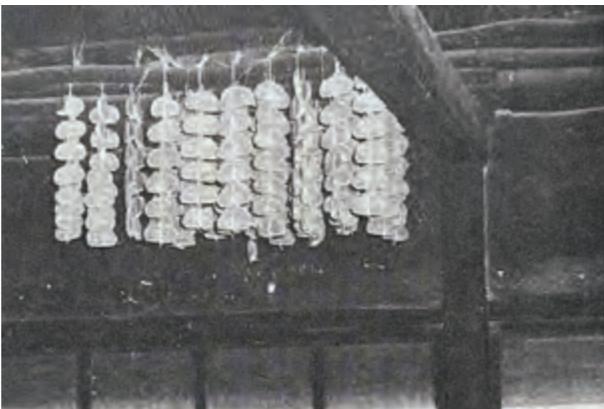
秋餅は新米でつき、あんこ餅、つゆ餅、きなこ餅などにして、餅づくりの食事を楽しみました。また、親戚や農作業を手伝った家に二升餅を持参し「餅振る舞い」をしました。嫁がこの餅を持って実家に帰る習慣もありました。

参考：飯館村史第3卷「民経」



全村避難の期間にも仮設住宅の自治会などが餅つきを行い、村の暮らしを懐かしみ励まし合いました。

平成26年1月・旧伊達東仮設住宅



厳冬期の気候を生かしてつくる凍み餅。家の梁(はり)に下げて乾燥させました。(昭和期の写真)

A group of five people standing behind a large floral arrangement, holding small blue books. A large '20' is visible in the background, suggesting a 20th anniversary celebration.

写真は二十歳の成人式の実行委員会の皆さん。『はたちの20冊』の図書を手に

は、20歳を迎えた方はもちろん、大人の方にもおすすめの本が紹介されています。また、紹介されている20冊は、交流センターで貸し出しを行っています。ぜひ手に取って、新しい本との出会いのきっかけにしてみてください。



「はたちの20冊」を制作しました

恋愛小説

からのお知らせです。

# いいたて なりわい REPORT vol.18

地域のためお客様のために一途な仕事で応える

有限会社 鹿山電気商会

「有限会社鹿山電気商会」は、代表の鹿山真広さん（深谷）の父・眞明さんが、昭和38年に創業した設備工事業の会社です。平成9年に法人化し、同時に真広さんが代表となりました。

当初は家電販売が中心でしたが、水道設備業、住宅の電気設備業と事業を拡大し、村のライフラインを支えてきました。

「子ども達が小さい頃は店が遊び場でしたね。店に立ち寄った方とコーヒーを飲んだり話したり、そんな日常がありました」と振り返るのは共に会社を盛り立てるてきた妻のあや子さん。

の工事を行いました。そして避難後も、資材やガソリンの調達に苦労しながら事業を継続し、避難先から新地町や川俣町の仮設住宅の電気設備工事にも携わりました。



令和2年に完成した現在の社屋。



飯館村管工事組合を介して浄水場の施設の清掃業務なども行っています。

「生活が整う前に仕事が始まっていた」という多忙な日々でしたが、福島市に拠点を確保し、資材置き場を借りて乗り越えました。令和2年2月には村に新社屋が完成。隣接する資材置き場も建て替えました。

有限会社鹿山電気商会  
飯館村深谷字二本木前23-1  
0244-42-0032



令和4年の『第4回電気工事技能競技全国大会』で、福島県代表として出場した真史さんが優勝し、金賞・経済産業大臣賞と『ジャパンeスキルチャンピオン』の称号を手にしました。写真は受賞時のスピーチの様子。優勝者の役目で、2年後の第5回大会ではポスターのモデルを務めました。